

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. **110**
2024.August



完成現場報告 島田市『テンプの家』

上質な木の家で暮らす
豊かな住まい

上質な木の家で暮らす 豊かな住まい



屋根勾配を生かして、落ち着きのある広間空間とした。造りつけのソファや薪ストーブを配置し、大きな窓からは緑豊かな庭を見る事が出来る。構造材が現れた真壁づくりの安心感と、木や漆喰などの素材の優しさが混在し、豊かで上質な空間となっている。

完成現場報告

島田市『テンプの家』

文・写真／コロラボ 山崎健治

昨年夏に完成した『テンプの家』。早いもので一年が経過しました。家のタイトルになっている『テンプ』とは、機械式時計の心臓部の名前で、一定のリズムで正確な時を刻むための大切な部品です。電気を使わず、自然の原理と人の知恵だけで正確な時を刻む仕組みは、自然素材と職人の技術でつくる木の家にも通じる部分があり、どちらも丁寧な仕事と技術が下支えとなっています。時の流れには逆らうことが出来ず、一度過ぎた時間はもう二度と戻ってきません。木の家で過ごす豊かな時の流れを大切に感じてもらえる住まいになればと思います名前をつけさせていただきました。Aさんとお付き合いは、島田の展示場を見ていただいた所からスタートしました。家づくりについてはまだこれから、色々な住まいを見学していると話していました。「新しく綺麗な住まいはたくさんあるけどどれも同じに見え、現代の住宅はこんな感じなのかな？」と想っていたけど、コロラボさんの家は全く違い、こんな家に暮らしたいと思うようになった」と話してくれました。また、仕事の関係で借家暮らしが長かった事も

あり、建てるなら平屋で伸び伸びと暮らしたい。家だけでなく庭も暮らしの一部となるような、ゆとりのある住まいにしたいと話していました。その後見学会などで様々な木の家を見ていただきながらイメージを膨らませ、土地探しからスタートしました。土地の選定は、地域や学区、大きさや道路との関係など、見れば見るほど悩み、良いと思ってもなかなか一歩が前に出ない事が多いと思います。自分たちの満足できる住まいがつかれるのか、隠れた問題はないか、など悩んでいるうちにその土地が売れてしまったりと、タイミングと決断が難しいと思います。Aさんも色々な土地情報を見たり実際に足を運んだりしていましたが、自分たちだけで決定するのは難しいと思っていたようです。今回は私の知り合いの不動産屋の担当者に声を掛け、Aさんの選んだ土地について情報を集め、地域の事や給排水などの設備の事、地盤の事など、ひとつひとつの不安を解決していきました。最終的には今回の土地に決定しましたが、購入前は建物や大きな樹木もあり、全体を確認できない状態での判断でした。契約後に建物と樹木が解体され、何もなくなった土地に立った時の開放感や広さなど、とても満足のいく土地だと喜んでいただきました。土地が決まりいよいよ本格的に設計のスタート。間取りや素材など、じっくりと時間を掛けて打ち合わせをしていきました。



北側道路からの外観。平屋風の低い屋根と窓格子が外観のポイント。外構の塀や石、植栽などもアクセントになり、優しい雰囲気の外観にまとまった。

土地探しの際、南側道路の物件を優先して探す方が多いと思いますが、今回のAさんのお宅の様に、一定の広さや周辺の条件が良ければ、むしろ北側道路の方が明るく暮らしやすいプランが出来ると考えています。南側道路の場合、駐車スペースや玄関が建物の南側に配置され、その分リビングやダイニングの広さが十分に確保出来ない場合や、窓が取りにくい事があります。北側道路の場合は、北側に車庫や玄関が配置されるので、南側に広いリビングやダイニングなどをつくる事が出来ます。また、プライベートの面からも、南側道路では、リビングの大きな窓から来客や通行人に室内が見えてしまう事があり、気になってなかなかカーテンが開けられないケースもよく聞かれます。北側道路の注意点として、水廻りの配置があります。一般的に建物の北側には、浴室やトイレなどの水廻りが配置される事が多いのですが、水廻りは生活を感ずる部分となるので、私は極力東か西側に配置し、道路からは、生活が感じられないように注意しています。どうしても避けられない場合や、北側に配置した寝室などの窓には、Aさんのお宅の様に窓格子を設け目隠し兼外観のポイントとなるようにデザインしています。

北側道路のメリットを最大限に使う

今年春に完成した広々とした中庭。室内からの眺望を意識し、ヤマボウシやアオダモ、ジュンペリリーをシンボルとして配置した。地被植物も様々な種類が植えられ、季節毎の変化を楽しめるお庭になった。



建物と庭が一体となった暮らし

Aさんのお宅は、土地の特徴を生かしてL型プランを提案しました。開放感を感じながらもプライバシーを保つ事のできる形状で、私の得意とするプランでもあります。L型プランに加え、Aさんのお宅は北側道路の利点を生かし、駐車場と建物为一体となった形状も大きな特徴となっています。雨の日の車の乗り降りや買い物帰りの動線などがとても便利で、生活の中で利点の多いプランだと思います。Aさんは元々平屋を希望されていましたが、今後の生活を考えた時に負担にならない間取りを基本に考え、その上で屋根裏空間を生かしたプランになりました。屋根裏空間は一部屋十大きな収納をつくり、少しゆとりのあるプランになりました。Aさんのお宅に入ると、まず窓越しのお庭が目飛び込んで来ます。緑豊かなお庭は、今年の春に「作庭誠さん」にづくっていただきました。長い間「東香園」さんで経験を積み、私も信頼の置ける職人さんで、東香園さんがお庭を開ける事になったので、社長にも頼んで、コラボの庭づくりを引き継いでもらいました。日本の在来種を基本にした落ち着いた配置で、四季を楽しめるお庭になったと、Aさんにも喜んでいただきました。



絵画の好きなご夫婦、玄関にはニッチをつくり、来客を楽しませてくれている。玄関横にはシューズクロークを設け、玄関をスッキリとさせている。ベンチやスリッパ収納を造りつけ、機能的で上品な玄関となった。



丸テーブルを中心としたダイニングルーム。高い天井が開放感を与え、窓からは広間とはまた違ったお庭が楽しめる。テーブルはナラ材のココロポオリジナルテーブル、椅子は木曾三岳のカイアールさんのハンペンチェア。



広間の隣に配置した和室は、白土の土壁とEP天井ですっきりとした印象に仕上げている。土壁は色合いだけでなく、表面の凹凸の陰影が優しく美しい。市松柄の畳も良いアクセントになっている。



12帖の広間スペースは、薪ストーブや造りつけソファなどを配置し、ゆったりとした時間を楽しむ空間とした。北側の窓には機能とデザイン面から障子を取り付けた。障子は、窓から伝わる暑さや寒さを遮ってくれる。

それぞれの空間に合わせた上質な素材選び

コロボのつくる木の家は、構造材に静岡県産材の杉と松をふんだんに使い、壁を漆喰と杉板でつくるのが定番ですが、適材適所に合わせて様々な素材を選択しています。Aさんのお宅では、広間やダイニング、キッチン、寝室の床板に栗材を使い、ロフトには山桜を使っています。栗と山桜もコロボのレギュラー素材ですが、色や木目、硬さなどが違い、好みや使用場所によって選択しています。栗も十分に硬いですが、山桜は更に硬い素材です。硬い木と柔らかい木では、傷の付きやすさの差もあります。硬い木は暖かさを感じます。また、硬い木ほど経年変化において艶を増し、柔らかい木はだんだんと擦れた感じが気になってきます。好みや使う場所での選択ですが、後悔のないように木の特徴を十分に理解して使用する事をおすすめします。その他の床材として、畳や土間の素材があります。コロボでは本畳を使い、藁床やイグサにもこだわり、宮城県産の藁床、熊本県産の無洗土畳のイグサを使用しています。土間の仕上げも様々ありますが、定番は豆砂利の洗い出しで、モルタルに混ぜた綺麗な砂利を丁寧に洗って仕上げています。職人の技術が左右する仕上げで、毎回同じ職人に仕上げてもらっていますが、季節や天気などによって、乾き時間や配合などを変えながら仕上げています。壁材として、Aさんのお宅では和室を土壁で仕上げています。漆喰に比べて柔らかい感じが出て、和室や寝室などの静かな部屋に向いている素材ですが、表面の強度は漆喰に比べて弱く、小さな子供のいるお宅では少し気になるかもしれません。また、浴室の天井や壁、脱衣室の床に青森ヒバを使い、水に対して傷みやカビなどが少ない素材を選択しています。木は水に弱く、濡れるとカビたり腐ったりするのではないかと心配される方も多いですが、水に強い樹種の選択や、濡れてもすぐに乾くように貼り方を工夫しています。木は吸湿性の高い特徴があり、室内の湿度を吸収してくれ、部屋をさらっとした空気にしてくれます。Aさんのお宅でも適材適所で色々な素材を使い、空間に変化と豊かさを感じさせてくれる素材を選択しましたが、利点と欠点のそれぞれを理解して、上手に組み合わせることが大切だと思います。



広い芝生と様々な草木のある中庭。建物と植栽は一体となる事でとても良い雰囲気を感じさせてくれる。デッキに座ってぼーっと眺めるのも楽しい時間。

適材適所に合わせた素材選び

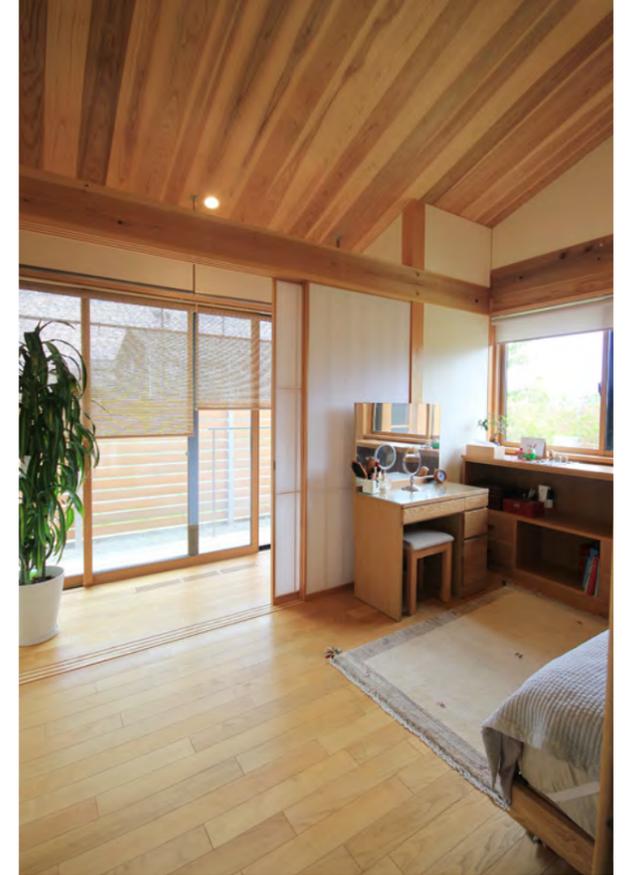
それぞれの部屋の用途に合わせた素材選びは、経年変化においてとても大切な要素です。デザインや色などで決定するのではなく、耐久性や特徴などを考慮し、適切な素材を選びましょう。



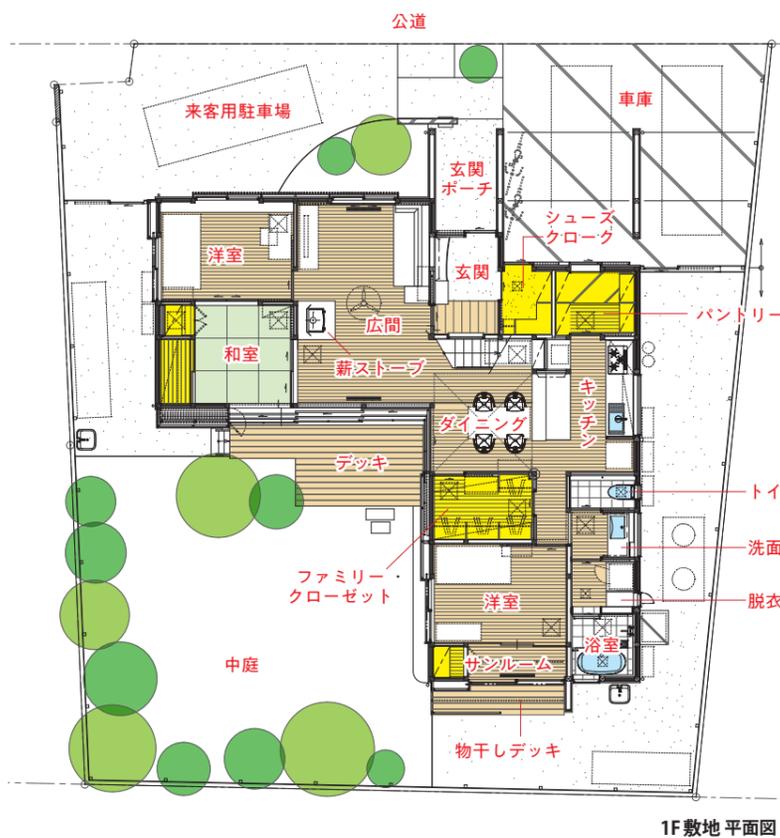
子供の寝室 板壁と漆喰が木の家らしい雰囲気を出している。低い本棚兼収納を造りつけた。床は栗材を選択。



父の寝室 小屋裏を利用して設けた寝室。少し低い天井で落ち着いた雰囲気がある。床板は山桜を選択した。



母の寝室 縁側兼物干しスペースのある寝室。勾配天井を縁側まで伸ばし、部屋を広く感じさせている。縁側と部屋は障子で仕切る事が出来る。



1F敷地平面図



2F平面図

仕様内容

家族構成	家族3人+犬1匹
敷地面積	350.77㎡
建築面積	126.24㎡
延べ床面積	141.34㎡
構法	落し込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼・マサ土掻き落し仕上げ・杉赤目透かし貼
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
壁	杉落し込み板現し・漆喰塗・土塗、青森ヒバFJ本実板張り
床	栗本実板・山桜本実板・青森ヒバFJ本実板(全て厚15mm)
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアーライン 天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和5年8月



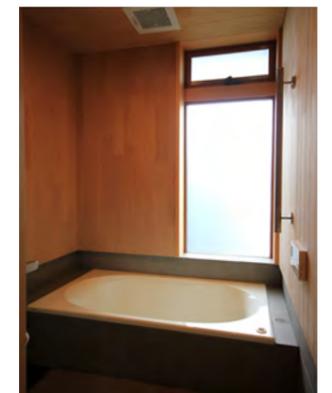
トイレ カウンター収納にスキップとした丸棒の手すりを設置。トイレでも手を抜かず、機能とデザインを追求した。



洗面台 コラボオリジナルの洗面台は、カウンターの大きさやキャビネットの配置を自由につくる事が出来る。



脱衣室 カラッとふんわりした仕上がりが嬉しいガス乾燥機を設置。忙しい毎日の中で洗濯物の乾き具合はとても大切。



浴室 ヒバの香りがとても良く、1日の疲れを癒してくれる浴室。サーモタイルはグレーの落ち着いた色を選択。

家づくりは暮らしづくり
新しい住まいで快適な生活

Aさんの家づくりを振り返ると、今まで暮らしていた地域から少し離れた場所に土地を購入し、一歩一歩、ひとつひとつじっくりと考えて進んで行った家づくりだったと感じます。多くの方が家づくりは初めてで、何から何まで未経験の事が多く、でもそれだけで掛かる費用はとも大きく、不安や心配な事の連続だと思っています。Aさんも同様に心配な事も多かったと思いますが、じっくりと考え、自分たちが納得するまで妥協せずに進めていかれたと思います。間取りの事や素材選びの事、最終的な費用の検討など、流されず諦めず、とても真剣に家づくりに向き合っていたいかなりました。家が出来ると暮らしも変わります。今まで気になっていた不都合や心配事から解放され、心地よくスムーズな生活は心もリラックスし、気持ちに余裕が生まれてくると思います。また、お気に入りの空間やインテリアの中で過ごす日々、これまでの生活には無かったお庭のある風景など、何もかもが今までは変わり、自分たちが創り上げた快適な暮らしへと変わっていきます。まだ暮らし始めて一年ですが、これからの木の家やお庭の草木の変化を楽しみつつ、心地よい暮らしを楽しんでいただきたいと思います。

私の好きな 愛しい道具たち

最終号vol.15

8/30-9/1 藤枝Gallery hyggeにて 秋の9-10 (初) 秋の展示会をいす!

うつわ暮らしの道具テクラ
店主 宮入由起

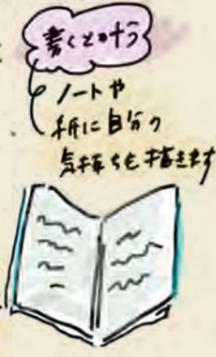


静岡市葵区で仕事の商品をみなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と主人の娘の4人暮らし。夢は旅をしたから絵をかき旅日記を出版すること。仕事も暮らしも染みこむ。

みなさん、こんにちは。宮入由起です。15回目今回は最終号となり、今までのこと、これから私の夢のことをお伝えしたいと思っています。初めてこの連載のお話を頂いた時本当に嬉しくて、おもしろい話を覚えたいです、テクラでご紹介している、各作家さんの素敵なところをどうやって伝えたいのか、始めの頃は1つの記事に4-5日かかったことも。何だかむづかしい感じがして、糸を紡ぎ、文字を書き今の私が感じる生き方、と人なごとかとこの2年半がと考えると、



また、テクラというお店の店主であるだけでなく、もっと自分を表現し、伝えたい事がある。欲張りなのかな...とも思う事も、でも今は心の中に湧き上がる気持ちを大切に、小さくても違和感はないように、スペースを空けて、コツコツ自分に向き合い、生活を糸を上げていく。今の私は、そんなことを考えて、新しい私に会いに行けるよう、日々を進めています。このころは「通信のおかげで」私は糸を紡ぐことが好きで、



前号のように旅の日記を描きたい、自分の夢を描くことができず。ニッポン造り建築研究所のみなさま、ご賢下されたみな様により感謝申し上げます。万葉

テクラ 宮入由起

Instagram @tekura_miyairi @tekura2013yk(私) @miyaiyuki(イラスト)

★テクラさんの「私の愛しい道具たち」、作品の背景が垣間見える興味深いお話でした。今までありがとうございました。次回からはmur mur designさんのお話です。お楽しみに。

doma 雑貨店



2024年2月に移転しました。新店舗は築50年の昭和家屋を改装し、暮らしの道具や古道具が引き立つ趣のある空間です。店内には喫茶室を併設し、出張喫茶やワークショップなども開催しています。お買い物の合間にくつろぎのひと時をお楽しみください。営業日やお知らせについてはInstagramにて発信しておりますので、是非ご覧ください。

[住 所] 焼津市東小川6-11-5 [S N S] Instagram: @doma.zakka [OPEN] SNSにて発信



モミの木



27年間の歴史を持つ当店は、2014年7月に「すろー cafe モミの木」として大規模リニューアルオープンしました。オーガニック食材や新鮮な地元産野菜を使用し、添加物を一切使用しない身体に優しいスイーツとカフェメニューを提供しています。木のぬくもりが感じられる店内は土足厳禁で、まるで自宅のようにリラックスできます。乳製品不使用のナチュラルスイーツやオーガニックドリンク、本格ピザ窯で焼き上げたピザもご用意。ぜひお立ち寄りください。

[住 所] 藤枝市志太1-6-7 [S N S] Instagram: @slow_cafe_mominoki [OPEN] 11:00~17:00 [URL] http://www.mominoki.net [定休日] 月~水、日曜日 (木・金・土の営業です)



「コロボ設置店」より...



[KoKolab.] Facebook ページ

Instagram @kokolab.ie

KoKola.b.

隔月刊 ココラボ通信 No.110
2024年8月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4
TEL : 0547-54-4556
FAX : 0547-54-4557
http://www.kokolab.jp
E-mail : office@kokolab.jp

担当
山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝
印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



【購読を希望されます方へ】

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

梅雨が明け、一気に気温が上昇しましたね。一昔前は、日中は窓を開けて風を通して過ごす事が当たり前で、就寝前に少しエアコンをつける事が多かったと思いますが、近年のような暑さでは、室内にいる時は日中でもエアコンをつけているという方が多いと思います。木の家も同様ですが、エアコンをつけた時に感じる心地良さは、室内の素材の違いによって変わってくると感じます。木の家はサラッと気持ちよく、冷えすぎて寒いという事は感じにくく、適度な湿度や素材の表面温度から伝わる輻射熱で快適に過ごしています。“家のつくりは夏を旨とすべし”徒然草の一句にもありますが、これからの住まいは、断熱や省エネと合わせて、素材選びも重要な要素になってくると思います。

(山崎健治)

『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29
電話 : 054-270-7658

こころばの家
@静岡(地図)



『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4
電話 : 0547-54-4556

こころばの家
@島田(地図)



Information

🏠 静岡市『すてきな仲間の家』完成現場見学会を行います。

『すてきな仲間の家』は、長年の保育の仕事を通し、子供や子育て中のお母さんに寄り添った場所を提供したいという3人の熱い気持ちから生まれた親子カフェ。建物はコンパクトな大きさですが、屋根形状や窓を工夫し、住宅とは少し違った雰囲気の木の家を提案しました。大工の技術を見せ、オクシズ材の木に囲まれた空間を是非ご覧ください。

◆ 日時 : 2024年9月中旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)
※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所 : 静岡市

🏠 静岡市『Plus Beeの家』完成現場見学会を行います。

静岡市の街中に建築中のAさんご家族のお宅は、小さなお店を併設する住まいです。元々祖父母が暮らしていた住まいを建て替え、ココラボ定番の木と漆喰をふんだんに使った内装と、開放的な窓や高い天井など、心地よさを五感で感じる住まいとなりました。秋の心地よい季節の中、是非ご覧ください。

◆ 日時 : 2024年10月中旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)
※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所 : 静岡市

🏠 焼津市『くらびの家』完成現場見学会を行います。

6月上旬に建前を行ったUさんご家族のお宅は、屋根形状をそのまま利用して、家族の集まる広間は大きな吹抜けに、寝室や個室は少し低めの勾配天井にしました。一つの同じ屋根の下ですが、配置を工夫することで違った雰囲気になり、それらの繋がりが居心地の良い場所をつくっています。風の通り抜ける南北の大きな窓や、板倉づくりの安心安全な心地よい空間をご覧ください。

◆ 日時 : 2024年10月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)
※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所 : 焼津市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。家づくりが具体的に無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

◆ 木の家常設展示場オープン日 『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探る中で参考になればと思います。展示場を見学していただく事が出来ますので、HPの申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時 :
9月7・8日(土・日)
10月12・13日(土・日)
10:00~17:00(予約制)

◆ 場所 :
『こころばの家@静岡』
静岡市駿河区新川2丁目5-29 電話 : 054-270-7658
『こころばの家@島田』
島田市東町1370-4 電話 : 0547-54-4556